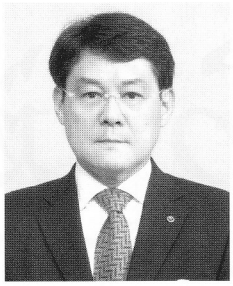
仙台
オペラ協会
会報

第40号
仙台オペラ協会事務局
〒980-0012
仙台市青葉区錦町1丁目3-9
TEL&FAX.022-264-2883

会長挨拶

会長　藤﨑 三郎助



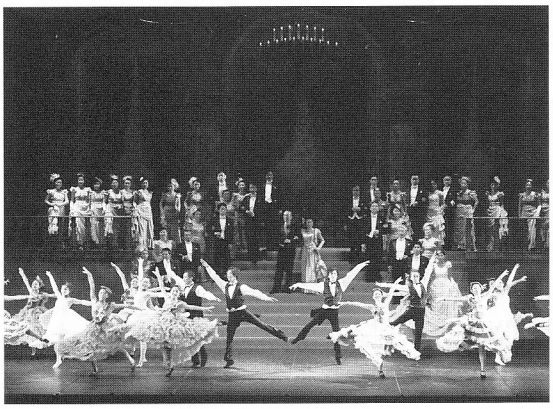
会長 藤﨑 三郎助

会員の皆さまには日頃から何かとご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

当協会は来年創立40年を迎えます。日本国内をみても、これほど長く定期的な活動を続けている団体は稀で、二期会などの大規模なところを含めてもその数は十数団体しかないと伺っています。39年前、故小野浩資先生が中心となって設立以来、様々な困難を乗り越えつゝ、徐々に規模を拡大しながら本格的な公演を続けることが出来たのも、多くの方々のご尽力の賜物に他なりません。これまで活動してきた演奏部員をはじめ、会員の皆様、スタッフ、お客様など、支えて下さった全ての皆様に敬意を表したいと存じます。

さて、本年は「後宮からの逃走」をお届け致します。この作品はモーツァルトの五大オペラでありながら演奏される機会が極端に少ない為に知名度が低く、会長としては売れ行きが少々心配でもあります。しかし考えてみれば、希少価値のある公演で、しかも内容は間違いなく魅力溢れるものなのですから、皆さまのお力で大いに宣伝をして頂き、是非、公演を成功させたいと考えております。

皆さま、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



「こうもり」報告

仙台オペラ協会芸術監督　佐藤 淳一

昨年度の第38回本公演は、当オペラ協会にとって18年振りとなる「こうもり」（ヨハン・シュトラウスⅡ作曲）でした。両日合わせて1740名程の方々にご来場いただき、大変華やかな楽しく美しい舞台を皆様に楽しんでいただく事が出来ました。これも指揮の本多優之先生と演出の梶賀千鶴子先生のチームワークの良さが全体に浸透したおかげだと思っています。また梶賀先生の劇団の方々の最大限のご協力も受けて盛会裏に終わりました。

アイゼンシュタインの佐藤一昭さんを初めとしてたくさんの佐藤さん方に客演をいただき、また第2幕の途中にはオペラ協会メンバーによるガラコンサートが行われたり、約40名の合唱とSCSミュージカル研究所の皆さんによるダンスも加わり楽しさ満載だったのではないかと思います。加えて今回の日本語の歌詞は古澤利人さんによるもので、新鮮な響きでお聴きいただけたのではないでしょうか。

お帰りいただくときの皆様の笑顔が公演の成功を証明してくださったと思います。ありがとうございました。

予告　～東日本大震災復興応援公演～
オペラ「双子の星」共催公演（予定）

原作：宮沢賢治　脚本：小山高生
演出：大日琳太郎　指揮：高橋 裕　作曲：高橋 裕

平成27年 3/7(土)・8(日)　会場　日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター シアターホール）

平成27年 3/15(日)　会場　文京シビックホール（東京都文京区）大ホール

出演者のコメント

“アデーレ”を演じて

森 明子

今回、念願のアデーレ役を演じることができ、幸せでした。役のキャラクターが自分と一体となり、表現する喜びは、他に代わるものがありません。でも稽古が進むにつれ、以前に描いていたアデーレ像とのギャップ、喜劇の難しさ、セリフと歌の発声のバランス、インペクの仕事（スケジュール調整）との両立等で、葛藤の日々でした。ただ現在、「後宮からの逃走」のブロンデ役にチャレンジしていますが、あの時悩み、苦労した事が、今の自分の新たな引き出しになっていることに、改めて気づかされています。ご指導して下さった先生方を始め、ご一緒して下さった皆様、本当にありがとうございました。

演出家から

「こうもり」の演出を終えて

梶賀 千鶴子

昨年の今頃「こうもりは自力で飛行できる唯一の哺乳類」だということが気になりながら稽古場におりました。喜劇である故とにかくお話の内容とメッセージを伝える演出に注力。出口のない原語主義や原典主義などのことはこの際うっちゃって、日本語上演のメリットを引き出すように気をつかいました。こうもりという作品、簡単に言えば「陽気に人生を楽しもう」と謳うわけで、指揮者、オーケストラ、歌手のみなさんと共に人生を楽しむ時間を共有できたことに感謝しています。終演後アンケートで「お話がわかった、眠らなかった、おもしろかった」などと客席が楽しんでくださったことを知り、嬉しく感じた公演でした。

「後宮からの逃走」本公演迫る!

～仙台オペラ協会が、ついにモーツァルト5大オペラを制覇～

やはりモーツァルトは凄い！稽古での休憩中、気が付くとこの作品の何かしらの役のアリアを口ずさんでしまっています。このオペラはどの役も魅力的で、それぞれにすばらしい曲があります。そしてモーツァルトらしい楽しい重唱も聴き所。モーツァルトの五大オペラの1つとされているのに、国内での上演は極めて少ないのです。このような演目を仙台で上演できることに感謝します。

そして、指揮・演出の末廣先生もやはり凄い！マエストロにはこれまでにも何度も本公演において指揮を振っていただいてきましたが、今回は演出も引き受けていただくことができました。マエストロの稽古を受けるたびに、オペラの魅力を再確認し、人間のもつ魅力に気付かされます。

9月の公演では、モーツァルトが作品に込めたメッセージに加え、私たちがマエストロから教わったことが、ご来場いただいたお客様に伝わるよう、さらに稽古に励みます。ご期待ください。

（野崎　記）

ゲスト情報

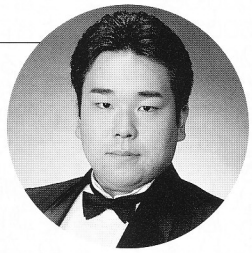
プロフィール

佐藤 直幸

東京藝述大学音楽学部声楽科卒業。J.シュトラウス「こうもり」アルフレード役、F.レハール「メリー・ウィドウ」カミーユ・ド・ロジョン役、その他にモーツァルト「レクイエム」、藝大合唱定期演奏会B.ブリテン「戦争レクイエム」のソリストを務める。現在、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻(独唱)2年在学。これまでに、岩瀬りゅう子、A.L.ランティエーリ、佐藤淳一、吉田浩之の各氏に師事。

この作品はキャラクターひとりひとりの人間ドラマが見所のオペラです。フィナーレを迎えるまでの人間の成長をうまく描ければと思います。

プロフィール



宮西 一弘

国立音楽大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻ドイツ歌曲コース修了。これまでに声楽を伊藤絢子、伊藤勲、佐藤峰子、澤畑恵美の各氏に師事。第25回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門入選、第20回友愛ドイツ歌曲コンクールにおいて奨励賞を受賞。これまでに「フィガロの結婚」「こうもり」モーツァルト「レクイエム」「第九」などのソリストを務める。

今回出演のお話をいただき、本当に感謝しております。故郷の東北でオペラができる喜びを噛み締めて、精一杯頑張ります!!

指揮者　演出家

コメント

末廣 誠

オペラを指揮していると、どうしても演出の範疇に立ち入らねばならない。音楽が求めている事は、そのまま演技に反映すべきだし、見いだせないものを勝手に加えてはいけない。私にとってオペラは音楽だ。だからいつも身の程もわきまえず口を出し続けて来た。いつかはこんな日が来るとは思っていたが、とうとう両方やれと言われてしまった。それも初めてやる作品で、しかも愛すべきモーツァルトだ。もはや若気の至りと逃げられないし、もう若くもない。しかし初めこそ五里霧中だったものの、ある日スラスラとアイデアが浮かび、頭の中で登場人物が動き始めた。問題は作品の求めるレベルまで歌や演技を引き上げられるかだ。今私は無力さをとことん見せつけられている。

「後宮」にはその後の四大オペラへの道が示されている。「罪」「贖罪」そして「寛容」。この作品の「高み」まで私は手が届くか。本番まであとわずか、私は歌い手達と苦闘せねばならないようだ。

キャストインタビュー

コンスタンツェ役
齋藤 翠

Hatred only bears hatred.太守のこの言葉を私も大切に本番までの日々を精進いたします。皆さんお誘いあわせの上、劇場にお越し下さい 。

ブロンデ役
及川 亜紀子

大きな舞台に立つ機会を与えていただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。ブロンデという人になりきれるように頑張ります。

プレ企画「オペラへの招待」報告

7月13日（日）グリーンプラザ仙台アクアホールにてプレ企画「オペラへの招待」が行われました。第一部は作曲家でめぐる世界旅行をテーマにしたガラコンサート。第二部は指揮・演出の末廣誠先生による解説付きで「後宮からの逃走」のハイライトを演奏致しました。どちらも楽しい進行に笑いもあり、最後はブラヴォーの声もあがりました。足をお運び下さった皆様のあたたかい拍手を励みにして、本公演も頑張りたいと思います。（松本　記）

研究生 活動報告

11期生報告

去る3月15日、11期生は、2年間の最後の合同発表会で「こうもり」の冒頭から2重唱、助演の野崎さんを加えて三重唱を演奏しました。高嶋さんは、少々動きや顔の表情に硬さがあったのですが、アデーレ役で表情が明るくなりキャラクターの表現の仕方を学んだのではないかと思います。丹野さんは、ロザリリンデ役で落ち着いた大人の女性を表現していました。ふたりとも日本語の台詞の間やステージの立ち位置、すき間の使い方等良く研究され、オペレッタとして楽しい一場面を作り上げ大変良く演じていたと思います。歌にも、伸びやかさが感じられました。2年間で学ばれたことを今後の活動につなげていってほしいと思います。（文責:佐藤 順子）

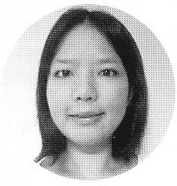
12期生報告

1年次は「フィガロの結婚」2幕冒頭部分を研究した。3月の発表会では、多くの自主練習を行った成果が顕著にあらわれ、非常に完成度の高い演奏と緻密に組み立てられた演技力を披露した。現在は、今年度準会員となった松岡さんを助演に、チマローザ作曲「秘密の結婚」1幕の三重唱に取り組んでいる。各自のソロを含む難易度の高い三重唱で、姉妹のけんかに叔母が絡み3人の個性がぶつかり合う曲である。喜劇を成立させるためには明瞭な個性を演じ分ける力が必要なので、各々の性格を表現するための歌唱表現・演技に重点を置いて研究を続けているところである。（文責:應和 恵子）

13期生報告

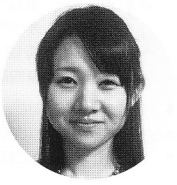
女声4名の研究生が集まりました。テキストは、モーツァルト「フィガロの結婚」より。伯爵夫人:長門由江さん、スザンナ:大橋絹栄さん、ケルビーノ:野替梨沙さん、マルチェリーナ:川口真莉さん。前期は日本語訳、コンサート形式で、後期は同じ場面を原語で、演技をつけて演奏します。（文責:鈴木 誠）

13期研究生プロフィール



大橋 絹栄

宮城県石巻市出身。宮城教育大学初等教育教員養成課程音楽コース卒業。現在は宮城教育大学大学院教育学研究科音楽教育専修に在学中。声楽を應和惠子、相澤優子の各氏に師事。



川口 真莉

宮城学院女子大学学芸学部音楽科声楽専攻を卒業。これまでに、坂本知亜紀・佐藤順子各氏に師事。cantiamo l'operaというオペラサークルに2年間在籍し、演奏会に出演。

長門 由江

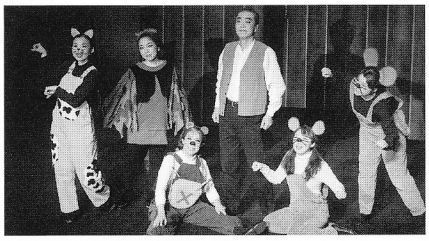
国立音楽大学声楽科卒業。ピアノを中村由比子氏に、声楽を小野邦代・佐藤順子の各氏に師事。リサイタル等、各種コンサートに出演。仙台・塩竈市内にて後進の指導にあたっている。仙台シューマン協会会員。

野替 梨沙

仙台市出身。声楽を佐藤明子,中村浩子に師事。仙台少年少女合唱隊,宮城県第三女子高等学校音楽部を経て、現在仙台放送合唱団で演奏活動を継続している。2000年、2013年にオペラ「遠い帆」に出演。東北薬科大学在学。

春のインテルメッツォ 2014
セロ弾きのゴーシュ・ガラコンサート報告

2月22日・23日の2日間に、A・B・Cの3回公演となった春のインテルメッツォ。第1部はガラコンサート、第2部は林光作曲「セロ弾きのゴーシュ」でした。今回の演出は1995年の公演のリメイクでしたが、大きな変更がありました。それは、指揮者がいないということです。これには我々出演者も苦労しました。記録的大雪のために稽古が中止になったり、ギックリ腰のために稽古に参加できなかった出演者がいたりと、稽古では色々なことがありましたが、公演当日は、大人も子どもも楽しめる良い舞台になりました。（野崎　記）



平成26年度定期総会開催

去る6月14日（土）ホテル法華クラブ仙台において平成26年度定期総会が開催され、全議案異議なく承認されました。平成25年度収支決算は、会費・寄付金等予想以上に収入があったことなどにより黒字になりました。

総会終了後は「フレンドリーパーティ&コンサート」で楽しい時間を過ごしていただきました。

平成25年度事業報告（主なもの）

5月18日	第2回役員会・定期総会
7月14日	「オペラへの招待」コンサート公演
8月　1日	会報第39号発行
9月7･8日	第38回公演「こうもり」
9月21日	泉マルシェ「オペラライヴ」に出演
10月5日	せんくら：椿姫ハイライト」に出演
10月31日	ナザレト愛児園他復興コンサート出演
11月8日	登米市立石森小学校　〃
12月21日	旭ヶ丘市民センター　〃
2月22･23日	春のインテルメッツォ2014公演
3月16日	第11･12期研究生後期合同発表会
3月25日	第5回役員会

平成26年度事業計画（主なもの）

6月14日	役員会・定期総会
7月13日	「オペラへの招待」コンサート公演
7月27日	FNSの日27時間テレビに出演
8月1日	会報第40号発行
9月14･15日	第39回公演「後宮からの逃走」
10月14日	第12･13期研究生前期合同発表会
3月7･8日	オペラ「双子の星」共催公演
3月	第12･13期研究生後期合同発表会
3月末	第四回役員会

＊ 各種の出演依頼には積極的に応じて行く
＊ 会員加入の促進に努める
＊ 財政基盤の強化に努める

新役員紹介

会長	藤崎三郎助	藤崎代表取締役社長
副会長	一力　雅彦	河北新報社代表取締役社長
〃	亀井　淳一	カメイ専務取締役
理事	相沢　光哉	宮城県議会議員
〃	姉歯けい子	オペラ協会演奏部会員
〃	大泉　勉	宮城教育大学名誉教授
〃	應和　惠子	オペラ協会演奏部会員
〃	片岡　良和	作曲家・住職
〃	佐藤　淳一	オペラ協会演奏部会員
〃	鈴木　誠	オペラ協会演奏部会員
〃	高野　光子	ホテルベルエア会長
〃	八木　洵	エイトリー　社長
監事	熊谷　眞人	税理士
〃	三島　卓郎	弁護士
顧問	亀井　昭伍	前オペラ協会会長
〃	青木　茂之	前オペラ協会副会長
事務局長	庄子　真希	

仙台オペラ協会平成25年度 収支決算書

収入の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈決算額〉	〈備考〉
前期繰越金	619,200	
会費計	4,434,002	
（個人会費）	895,000	
（法人会費）	371,602	
（演奏部会費）	2,897,400	本公演等臨時会費含む
（研究生会費）	270,000	
入場料計	10,797,145	
（本公演）	9,084,775	
（インテルメッツォ）	1,712,370	
広告費	1,239,400	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ広告収入
共催金	900,000	宮城県文化振興財団
助成金	6,600,000	芸術文化振興基金 350万円 仙台市市民文化事業団 160万円 花王科学・芸術財団 50万円 カメイ社会教育振興財団 40万円 三菱ufj信託芸術文化財団 60万円
業務受託料	410,500	「せんくら」公演出演他
寄付	1,432,139	義捐金、ご祝儀等
受取利息	196	
雑収入・未収金	815,700	総会時コンサート会費等
収入合計	27,248,282	

支出の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈決算額〉	〈備考〉
出演費	5,184,000	指揮、オーケストラ演奏料等
音楽費	739,746	稽古ﾋﾟｱﾉ、楽譜代等
文芸費	2,042,327	演出、舞台監督費等
会場費	2,899,500	公演会場費
賃借費	417,545	稽古場借料等
舞台費	6,188,514	大道具、照明、音響費等
謝金	328,750	原稿代等
事務用品費	79,481	
印刷費	1,138,725	チラシ、会報等印刷代
記録費	454,250	記録写真、録画代等
福利厚生費	0	
通信費	331,782	郵便費等
水道光熱費	150,776	事務局用
旅費交通費	801,850	出演者交通費、ホテル代等
租税公課	185,300	消費税、印紙代等
広告宣伝費	655,850	新聞広告、ポスター掲示等
会議費	320,359	総会費、役員会経費等
制作諸経費	301,525	スタッフ弁当代等
運搬費	120,000	大道具運搬費等
消耗品費	9,914	紙代、テープ代等
家賃	248,939	事務局家賃
事務委託費	240,000	事務協力員経費
賃金	2,485,000	事務局員人件費等
リース料	242,148	コピー機リース料
支払手数料	42,415	銀行振込手数料等
雑費	205,388	公演時ﾄﾞﾘﾝｸｺｰﾅｰ経費等
前期未払金	234,500	会場借り上げ費等
借入金返済	600,000	長期借入金返済
予備費	0	
支出合計	26,648,584	

平成26年度収支予算書

収入の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈予算額〉
前期繰越金	599,698
会費計	4,000,000
（個人会費）	1,200,000
（法人会費）	500,000
（演奏部会費）	2,000,000
（研究生会費）	300,000
入場料計	8,743,000
（本公演）	8,743,000
（インテルメッツォ）	0
広告費	1,500,000
共催金	2,500,000
助成金	5,200,000
業務受託料	500,000
寄付	1,500,000
受け取り利息	500
雑収入・未収金	1,119,000
収入合計	25,662,198

支出の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈予算額〉
出演費	4,760,000
音楽費	1,150,000
文芸費	1,440,000
会場費	2,710,000
賃借費	490,000
舞台費	5,900,000
謝金	370,000
事務用品費	75,000
印刷費	1,062,000
記録費	400,000
福利厚生費	2,000
通信費	300,000
水道光熱費	170,000
旅費交通費	1,755,000
租税公課	200,000
広告宣伝費	700,000
会議費	330,000
制作諸経費	300,000
運搬費	120,000
消耗品費	10,000
家賃	250,000
事務委託費	240,000
賃金	2,414,000
リース料	250,000
支払手数料	40,000
雑費	100,000
前期未払金	50,000
借入金返済	0
予備費	74,198
支出合計	25,662,198

編集後記

編集作業を進めながら、本公演「後宮」の稽古。さらにフジテレビ27時間テレビに出演が決まり、「オペラSMAP」の練習。本職をこなしながら、このスケジュールはかなりきつい。「オペラSMAP」の稽古中、メンバーから「ア～楽しい！」の一言。どの仕事も基本“楽しく”。楽しくないといいものができないのは共通しています。（鈴木 誠 記）

☆会費納入のお願い☆　本年度会費が未納の方は、お早めに納入くださいますようお願いいたします。